

保護者の皆さんへ

家庭学習をしなければ学力は身に付きません
～家庭学習60・90運動～

・家庭学習をしなければ学校で学んだことを忘れてしまうばかりか、学校の授業にもついていけなくなってしまう。

学びの習慣化5箇条



「早寝早起き朝ごはん」の実行

家庭で毎日決まった時間の学習

テレビ・ゲーム・ケータイ等のルールの徹底

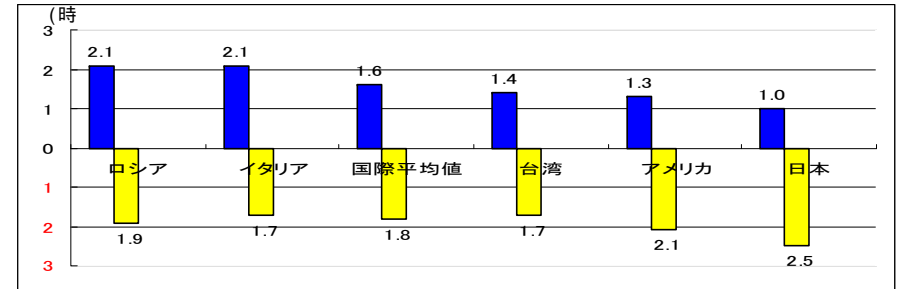
家庭での読書の時間の増大

親子で語る時間の設定

* 全国学力・学習状況調査において、上記のことが守られていると回答した児童生徒は、正答率が高くなっています。

児童生徒の実態は…

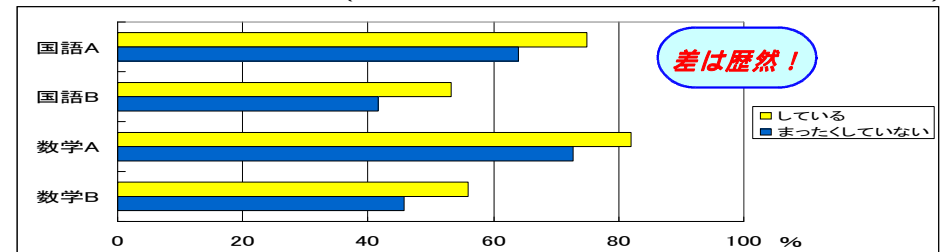
国際的には48か国中 宿題をする時間は**ほぼ最短**
テレビ・ビデオの視聴時間は**最長**



宿題をする1日あたり平均時間 TIMSS2007 国際数学・理科教育動向調査(対象中学校2年)
テレビ・ビデオを見る1日当たりの平均時間

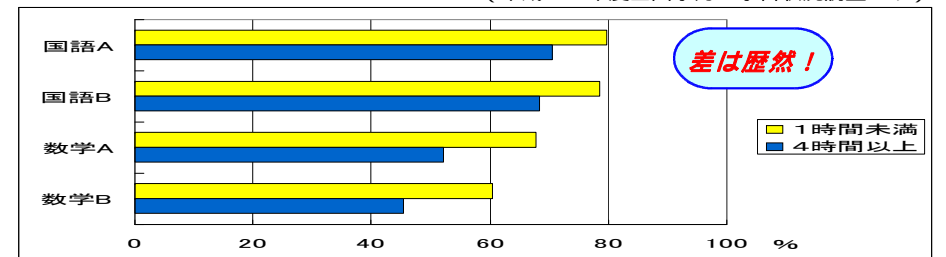
本県小学6年生の家庭学習時間別の正答率

(平成21年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙より)



本県中学3年生のテレビの視聴時間による正答率

(平成21年度全国学力・学習状況調査より)



思い当たることはありませんか？

～親子で振り返ってみましょう～

〈子ども〉

	テレビやビデオ，DVDなど好きなだけ見ている。
	ゲームや漫画，パソコン，ケータイなど好きなことばかりに熱中している。
	テレビを見たり音楽を聴いたりしながら勉強している。
	家の人から言われないと勉強しない。
	机の上や周りがゲームや漫画等で散らかっている。
	勉強する時間や内容が決まっていない。
	起床や就寝時刻が決まっていない。
	家で，学校や友人の話をあまりしない。

〈保護者〉

	子どもが勉強していても，テレビを大音量で見ている。
	子どもの見ている番組や視聴時間には，関心がない。
	子どもの教科書やノートを見たことがない。
	学校や勉強の話をあまり聞いたことがない。
	子どもをほめたり叱ったりしたことがない。
	子どもの前で親が読書する姿を見せたことがない。
	子どもと一緒に博物館や美術館に行くなどの体験が少ない
	子どもと一緒に地域の行事等に参加したことがない。

親子とも1つでもチェックが入れば要注意です。もう一度，子どもとよく話し合って，家庭の生活リズムを見直しましょう。

よい習慣が学力の向上のかぎ

- 1 子どもが見るテレビ番組や視聴時間には注意を払い，勉強している間は音量を小さくするなど配慮しましょう。
- 2 「毎日勉強する」，「時間がきたらとにかく机に向かわせる」など習慣になるまで根気強く取り組ませましょう。
- 3 学習したことは，教科書やノートを使ってその日のうちに復習させましょう。
- 4 テストなどの間違いをとがめずに，つまずきを見つけるチャンスととらえ，必ずやり直しをさせましょう。
- 5 今習っているところだけでなく，前の学年で習ったことやこれから習うところも学習させましょう。
(過去のプリントやテスト問題，中学生は(*注)「鹿児島ベーシック」の活用もできます。)
- 6 覚えなければならない漢字や計算の仕方，英単語などは，できるまで繰り返し練習させましょう。
- 7 分からないことをそのままにせず，先生に聞いたり教科書や事典，参考書等で調べたりして解決できるようにさせましょう。
- 8 頑張っている子どもの姿を認め，ほめてあげましょう。

(*注)「鹿児島ベーシック」とは，生徒自身が自学自習し，基礎的・基本的事項を確かめることができるように編集したソフトのこと。県教育委員会の Web ページからダウンロードできます。